
メルマガ

NPO 法人市民福祉団体全国協議会・復興支援事務所

NO.12 (2012年11月1日発信)

しっかい！

歩もう	つながろう
支えよう	広げよう
学ぼう	増やそう

★被災地関連情報★

引き続き募集中です！
問い合わせは連絡先へ直接行ってください。

【山元町仮設の女性グループ支援】 中古ミシン提供募集！
連絡先[ささえ愛山元・中村怜子 080-3031-5722]

「市民協・いしのまきハウス」開所式に出席

藤田佐和子

もう既にご存知の方も多いと思いますが、11月4日、「NPO 法人まちの寄り合い所・うめばたけ」代表：伊藤寿朗さん敷地内に、コミュニティ・カフェ（地域の居場所）として「市民協・いしのまきハウス」がオープンしました。これは、大和ハウス工業（株）ならびに大和リース（株）による社会貢献の一つとして寄贈されたとか…。地域のために何かしたいと思っているメンバーにとっては、“思いを形にする”はずみとなったようです。

代表の伊藤寿朗さんは、外資系の有名企業を退職した後、「シニアのための市民ネットワーク仙台」に関わったりするなど市民活動歴が長いのですが、地元石巻でも平成12年に「うめばたけ」を発足させ、以来、パソコン教室や英会話教室、朗読教室、図書室を開設するなど、無理をせずに地域の仲間と一緒に活動を重ねていったようです。今年5月31日、NPO 法人格を取得し、満を持してコミュニティづくりへの第一歩を踏み出すという場に立ち合わせていただきました。

開所式には、これまでの実績と人脈を物語るように、石巻市長からのメッセージが届き、寄贈先のダイワハウス関連の方々や、市社協・町内会長、各NPO、そして市民協から代表理事の島津さん、田中さん、鷲尾さん等が列席し、定員30～50名の会場は人の熱気であふれていました。

「行く所がある。会う人がいる。することがある」、そのような活動拠点を伊藤代表は目指しています。



10/14、バスツアーを迎えて

藤田佐和子

当事務所が、「仮設住民によるコミュニティ・カフェ等推進協議会」の事務局をしている関係で、今回のバスツアーの訪問先は東松島市のグリーントウンやもと②③仮設になりました。仮設自治会の「あおぞらコミュニティ」にとっては、市民協のバスツアーを受け入れパラソル喫茶をするのは初めてのことです。ツアーのお客様が25名くらいと知って、芋煮やおにぎりの準備を急遽100名から200名に増やし、仮設近くに有名な酒造会社「浦霞」があるので、お酒の試飲会を準備するなど、夏祭り以降、久しぶりのイベントとなったようです。

芋煮は、山形風（牛肉と醤油味）と宮城風（豚肉と味噌味）を準備しましたが、ツアーの皆様は食べ比べることが出来たでしょうか？会長代行の話によると、今まで見たこともない住民も参加していたとか…。それほどの大盛況で、テントを4台張り、パラソルもたくさん広げたのですが、住民優先のため座る席がなく、ツアー参加者は集会所の中での食事となってしまいました。が、そこは福祉のプロの面々、食事後、早速外に出て、住民の間に入って話を聞いていました…。今回はスタッフ不足のため、WAC仙台メンバーもお手伝いに来てくれました。



《モデル事業》仙台市と東松島市の合同開催

藤田佐和子

11月1日（木）、午後1時半～3時半、仙台市宮城野区中央市民センターにおいて、通算では6回目、仙台市と東松島市の合同開催としては2回目の協議会を29名出席して開催しました。今回は、モデル事業に参加している4仮設の代表が初めて全員揃いましたので、自己紹介から始まり、事業全体の進捗状況の説明、仮設代表者の報告を受けて出席者との意見交換となりました。

終わった後の感想は、集会所でカフェ等をする2仮設は計画どおり進んでいるのですが、みなし仮設と東松島市の仮設は、手さぐり状態の中、合意を得ながら進めていく必要があります。信頼関係を構築し、手法を確立するまでちょっと時間がかかりそうです。しかし、事業終了までにまだ5ヶ月あります。原点である“寄り添って”という姿勢を再確認しながら活動していきたいと思います。



作品がロンドンで販売！そしてミラノでも？

藤田佐和子

なでしこ会とは、東松島市ひびき工業団地仮設で手仕事好きな6人が結成したグループです。パラソル喫茶活動で訪れたとき、彼女たちが古布や着物地で「つるし雛」を作っている姿を見て、市民協に呼びかけて着物地の提供を行いました。しかし、自己流の作品では趣味で終わってしまいます。そこで、毛糸のマフラーや帽子を支援して頂いたことのある（社）日本編物文化協会の青木さんに相談したところ、同じビル内にある（財）日本手芸普及協会に声掛けして頂き、仙台市内の手芸講師を紹介して頂きました。それがきっかけとなり、月1～2回、佐々木先生の指導の下、バッグづくりをしていたのですが、ある時仮設の壁紙プロジェクトで訪れた方がその作品を見て、ロンドン在住のデザイナー牟田園さんに紹介したところ、とんとん拍子に話が進展し、ジャパンフェアで販売されたようです。先日は、日本テレビで全国放送されましたのでご存知の方もいるかもしれませんね。



なお、現在は東松島市で佐々木・小野寺先生が、石巻市で森竹先生が活動しています。

遠野通信

～遠野ではない場所での活動の近況～

古賀久恵

最近、自治体のホームページがフェイスブックになっていますね。私も昨年からフェイスブックユーザーです。今回は、フェイスブックを擬似体験していただきながら、東北の状況をお伝えします。書き方が柔らかすぎますが、フェイスブックを読んでいるとおつきあいください。

1. 福島県南相馬にて

本日はSVAの南相馬での移動図書館活動に参加して、5箇所の仮設住宅をまわりました。これで被災地3県の仮設の方々と「ふれあった」ことになります。本日は、たくさんお話を聞かせていただきました。その中で、ひとつだけみなさんに伝えますね。

このねこちゃんは、私のエプロンの結び目をほどもいで遊んでいました。ランチで寄った仮設商店街のお店の看板猫ちゃんかと思いきや、ある日突然このお店に現れてずっと居候をしている猫ちゃんなんだそうです。食べ終わるまでは、絡んでこないところを見ると、そのお行儀のよさからして、かつては飼い猫だったんだろうなと思いました。本当は動物が苦手な私なので、平時では絡んで来る動物なんていないのに、猫ちゃんが私に何を伝えたいのか？を考えてみました。

結論は、飼い主が行方不明なんだろうなって。迎えにくるのを待っているのかなぁなんて。



この視線、何かを訴えているように見えませんか？

2. 宮城県山元町にて

本日は、宮城県山元町でのSVA移動図書館活動日。スタッフが2名しかいないということで、急遽遠野から呼ばれてボランティア。仮設に図書館車を停めると2週間前にお目にかかった顔が次から次に駆け寄ってきてくれました。

子供のこと覚えるの苦手なのに前回会ったなぁという子供たちもたくさん来てくれました。

koga「あれ？こないだ〇〇仮設で会わなかったっけ？」
女の子「うん。そうだよ。あのときは遊びに行ってたの」
koga「〇〇っていうマンガリクエストしてなかった？」
女の子「持ってきた？」

koga「もちろん、他の子に借りられないようにここにとっておいたよ」
女の子の目がキラキラして、とっても嬉しそうに「これ借りる」と。

別の女の子は、私の横でず〜と私に絵本を読み聞かせしてくれました。5冊は読んでくれたでしょうか。

次の仮設に移動する片付けが始まって、マンガを読み続けている男の子も。

そして、1時間近く現在の悩みを打ち明けてくださった77歳の女性。私が地元の人ではない、「よそ者」だから話していただけたお話でした。

今こそよそ者が役立つことがあると感じた1日でした。



絵本を読んでくれた女の子と。

絵本にあった台詞「iiiiiiiiii〜」の一番大きい「い」の口合戦。

※※※

フェイスブックでは、このような記事を読んで「いいな」と思ってくださいました方が「いいね」とクリックしてくださったり、短いコメントを書いてくださいます。

SVAは、公益社団法人シャンティ国際ボランティア会の略称です。阪神淡路の頃活動していた曹洞宗ボランティア会が前進です。

【10月パラスノール喫茶実施報告】

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
		福島・佐原	すみちゃんの家	さくら会 JR南小泉		
						ばすどらる 石巻・大原浜
7	8	9	10	11	12	13
		福島・しのぶ台	NALC・仙台港背後地6 号公園	NALC・荒井小用地		
ばすどらる 大原浜						バスツアー(福島)
14	15	16	17	18	19	20
すずめの宿・七郷中央公 園仮設&2号公園仮設	仙台事務所&仙台傾聴 の会 扇町1丁目公園	福島・佐原	すみちゃんの家	さくら会 御町5丁目	おにぎり会&男の台所 扇町1丁目公園	
バスツアー あおぞらコミュニティ						
21	22	23	24	25	26	27
		福島・しのぶ台	NALC・岡田西町	NALC・七ヶ浜(中学校・ 第一スポーツ広場)		ばすどらる 扇町4丁目公園
28	29	30	31			